



福岡教育大学 (福岡県)



豊かな自然と歴史にあふれた地域性を活かした教育

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

本学は、九州で唯一の教員養成単科大学で、教育学・心理学・特別支援教育学・各教科教育学のほか、人文・社会・自然・芸術・スポーツ科学・家政学等、教科内容に関する多様な専門学術分野の教員を擁する大学である。

○学生・教員現員 (2019年5月1日現在)

学生	学部レベル	2627人
	大学院レベル	180人
教員		165人

② 国際交流の実績

- ・外国人留学生数 18人 (7カ国)
- ・国際交流協定校 7校

③ 過去3年間の日本語・日本文化研修留学生の受入れ実績

2019年：留学生数18人／日研生1人
 2018年：留学生数28人／日研生1人
 2017年：留学生数26人／日研生0人

④ 地域の特徴

大学が所在する宗像市は福岡市と北九州市のほぼ中間に位置し、北九州都市圏と福岡都市圏のベッドタウンとして発展し、豊かな自然環境に囲まれている。また、歴史的には、朝鮮半島に近いことから古より大陸との交流窓口として発展してきた。

自然に囲まれ、歴史に深くつながる地域に位置する大学として、その特性を教育に取り入れる工夫を行っている。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

a) 主に日本事情・日本文化に関する研修

② 研修・コースの特色

本コース生は、留学生対象の授業を履修し、さらに各指導教員のもとでの専門分野の学修を通じて、日本語と日本文化に関する総合的な研修を行う。日本語教育レベルは、JEES (日本国際教育支援協会) の日本語能力試験「N2レベル」程度である。学期始めの日本語プレテストにより、留学生担当教員において各人の能力に応じたクラス (初級Ⅰ、初級Ⅱ、初中級と漢字クラス、中級 (聴く・話す)、中級 (読む・書く)、上級、個別指導) を判定し、「推奨授業一覧」として通知する。

③ 受入定員

10名 (大使館推薦5名、大学推薦5名)

④ 受講希望者の資格、条件等

- ・原籍大学で、日本語や日本文化に関する領域を専攻していること。
- ・日本語能力試験 (JLPT) でN2以上であること。

⑤ 達成目標

留学期間を通して、日本の文化や教育制度に対する理解を深めることを目的とする。

⑥ 研修期間 (在籍期間)

2020年10月上旬 ~ 2021年9月下旬
(2020年10月1日 ~ 2021年9月30日)

⑦ 奨学金支給期間

2020年10月 ~ 2021年9月

⑧ 研修・年間スケジュール

月	内容
10月上旬	渡日 (2019年は10月1日)
10月	後期留学生オリエンテーション・日本語プレテスト
12月	・市民との文化交流会 (参加した地域の日本文化体験イベントについて、留学生が発表する。) ・日本理解特別プログラムによる研修旅行
2月	後期留学生研究発表会
4月	前期留学生オリエンテーション・日本語プレテスト
6月	地域の歴史・文化体験
7月	日本理解特別プログラムによる研修旅行
8月	前期留学生研究発表会
9月	自由研修期間・コース修了認定
9月下旬	帰国



2019年度前期研究発表会

⑨ コースの修了要件

コース修了時に最終レポートを提出、研究発表を行う。このレポート及び履修科目、ホームルーム出席状況等についての、指導教員、留学生担当教員による総合的評価をもとに、コース修了証の授与を受けることができる。（早期修了も可能）

必須要件

- ・ホームルームへの参加
- ・日本理解特別プログラムへの参加
- ・留学生対象授業・日本語科目への参加
- ・コース修了時の研究発表

○単位取得（成績）証明書

履修する全科目（「日本語補講」を除く）について発行可能。「日本語補講」については単位認定は行わないが、受講証明書の発行が可能。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

授業は、留学生向けのものだけでなく、空いている時間に日本人向けの授業を受講することもできる。

また、本学は宗像地域との交流が盛んであり、「お月見会」「着付け体験」といった日本文化に触れることができる行事がある。地域の小中学生に自国の文化を紹介する講師として参加することもできる。

すべての日研生には、チューター学生が配置され、一緒に勉強したり、留学生活に関する相談をすることができる体制が整っている。



着付け体験（2018年10月）

2) 研修・コース開設科目

1) 必須科目・内容

必須科目（前期）	概要
日本の教育制度A	現代の日本の教育制度に関するキーワードを学習しながら、日本の教育制度の特色を理解する。
比較教育文化論A	文化、習慣の違いからくるトラブル事例を学ぶ
異文化交流の心理学	毎回、あるテーマについて日本人学生と議論を行う。
日本事情A	日本人学生との対話を通して、日本についての認識を深める
※上記4つのうち3つを履修	
日本語	ブレイスメントテストの結果に応じて
日本語補講	ブレイスメントテストの結果に応じて
留学生ホームルーム	留学生、留学生担当教員で様々なテーマについて議論する。
日本理解特別プログラム	日本の文化や教育制度などについて、体験的に学ぶための研修旅行
最終レポート及び研究発表会での発表	留学生活で調べた研究テーマについて、レポートと発表を行う。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

・日本理解特別プログラム

日本の文化や教育制度などについて、体験的に学ぶことを目的としている。学期ごとに留学生の意見や希望で内容は異なるが、たとえば、日本や宗像地域の文化・歴史学習を行うため、博物館見学や体験活動を行ったり、地域の学校で交流体験を行ったりする。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

・「日本事情A・B」

日本の文化、社会についてのテーマを掘り下げていくために、日本の学生との話し合い、見学、インタビュー等様々な方法で周囲の意見を取り入れ、日本についての認識を深め、それによって自分自身の持つ文化的特徴をも把握していくことを目標とする。

・「異文化交流の心理学」「多文化間心理学」

後期・前期ともに、日本学生との合同授業である。毎回あるテーマ（食べ物、自分の将来など）やトラブル事例（割り勘や弁当など）をめぐって留学生と日本人学生とが小グループディスカッションを行い、出会い体験をする。また、留学生自らも母国についてのレクチャーを行う。留学や移民などの異文化接触に伴う心理的過程や育児文化等についても学ぶ。

⑪指導体制

・指導教員：

専門分野に関わる指導、研究発表および最終レポート作成の指導、学修や日本生活に関わる相談

・留学生担当教員：

留学生対象必修科目・選択科目の授業担当、授業分野に関わる指導、「日本理解特別プログラム」の実施・運営、「ホームルーム」の実施・運営、学修や日本生活に関わる相談。

■宿 舎

- ・福岡教育大学学生寮
 - ・大学近辺の民間アパート等に入居可能
- ※いずれも、渡日後に手続きを行う。

■修了生へのフォローアップ

・修了・帰国後、当該修了生から相談のある場合は、個別に対応している。

■問合せ先

（担当部署）

福岡教育大学連携推進課

住所 〒811-4192
福岡県宗像市赤間文教町1番1号
TEL +81-904-35-1247
FAX +81-940-35-1700
E-mail ryugak01@fukuoka-edu.ac.jp

福岡教育大学ホームページ

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp>